

ふるさと東北の復興を共に No.6

発行/株式会社わらび座 〒014-1192 秋田県仙北市田沢湖卒田字早稲田 430 TEL0187-44-3855

2012年1月発行

震災後 関西からの修学旅行 第一号！吹田高校



3.11の東日本大震災後、東北への修学旅行が自粛される中、10月に大阪府立吹田高等学校が関西で初めて東北修学旅行を実施。被災地気仙沼大島と、世界遺産「平泉」、当初予定通りわらび座・たざわこ芸術村へ2泊3日に来村。角館散策、ミュージカル「おもひでぼろぼろ」観劇、NEWソーラン節踊り体験、農業体験と密度の濃い時間を過ごした。NEWソーラン節発表会では生徒さんと先生方がひとつになった熱い総踊りとなり、心に残る修学旅行となりました。先生から寄せられた感想をご紹介します。

わらび座修学旅行を終えて

大阪府立吹田高等学校 教諭 手島肇

「先生、めつちや楽しいわ!!」出発前まで不満ばかり言っていた生徒の言葉とは思えない台詞。そして教室では見られない充実した表情。各農家宅での体験作業中に巡回した時のことです。

私たち吹田高校は、入学当初から「わらび座修学旅行」に決定していたものの、3月の震災以来、多くの不安要素を抱えての日々を過ごしてきました。「大きな余震は来ないか」「仙台空港は順調に復興するのかわ」「放射能の影響は大丈夫か」……。しかし、巡回時に垣間見たあの表情と言葉で不安は吹っ飛び、随分と救われた思いがしました。

帰校後とつたアンケート集計によると、「Newソーラン節の練習から発表までの取り組み」と「各農家さん宅での体験作業と宿泊」が群を抜いて満足度が高い。この時期に東北を修学旅行として訪れ、多くの場面で「人の絆」に触れられたという貴重な体験を、生徒一人ひとりが今後の人生に必ずや生かしてくれると確信しています。本当にどうも有り難うございました。

本来は新盆の家々を回るが、今年は初盆の家が多く、個人宅を回るのを断念。被災した海辺の住宅地跡や堤防、地域のお寺で踊った。



被災地に祈り、舞う——

11月28日に文化庁「文化芸術創造都市モデル事業」仙北実行委員会主催「復興と絆—伝統芸能と地域」がたざわこ芸術村を会場に開催されました。

第1回は被災地である福島県いわき市久之浜大久より



「自安我楽(じゃんがら)念仏踊り継承会」を招聘。継承会の遠藤論氏は震災直後から救出作業に携わり痛恨の思いで「じゃんがら」の復興に取り組んだ経緯を報告。続いての実演に盛大な拍手が寄せられました。

また盛岡大学の橋本裕之教授の講演会が行われ、自らの豊富な実践に基づき被災地の民俗芸能が直面する継承と支援、その緊急性と重要性が語られました。

橋本裕之氏
(盛岡大学教授)



ワークショップの様子



遠藤論氏
(自安我楽念仏踊り継承会)

予告

1月13日(金) 13:00~16:30 「民俗芸能は日本を救い、日本の未来を創る力」 たざわこ芸術村温泉ゆぼぼ・紫苑

特別対談 山折哲雄氏(宗教学者) VS 赤坂憲雄氏(民俗学者)

「シリーズ復興と絆—伝統芸能と地域」は文化庁「文化芸術創造都市モデル事業(民俗芸能創造発信事業)」に採択された、仙北実行委員会による事業です。わらび座も仙北実行委員会に参加しております。お問合せ：仙北実行委員会事務局 TEL0187-44-3975

心と心を繋ぐ

J Aグループ宮城震災復興大会

約1,000名が集まった復興大会



11月25日、J Aグループ宮城は仙台市の仙台国際センターで「震災復興大会」を開催。開催にあたって農業者を励ましてほしいとわらび座への出演依頼があり、「アトム」チームが一年の農作業を綴った「田植おどり」をモチーフに歌舞と太鼓を披露。「今こそ結集して宮城の農業の復興を」と集まった参加者1,000名が心をつにしました。

参加者にインタビューする
樗千代



J Aグループ宮城
震災復興大会

日時 平成二十三年十一月二十五日
会場 仙台国際センター
午後六時三十分

J A福岡県女性協 123名、たざわこ芸術村へ

— J Aみやぎ女性協、J A岩手県女性協との交流も実現 —



J Aみやぎ女性組織協議会・J A福岡県女性協議会 交流会

11月28日から2泊3日でJ A福岡県女性協議会がたざわこ芸術村へ研修旅行に来村。J A岩手県中央会、J A岩手県女性組織協議会、J Aみやぎ女性組織協議会との交流企画では、両会長の話を涙を流し、抱き合っただけで励みを交わす姿が多く見られました。たざわこ芸術村で一行は「おもひでぼろぼろ」観劇、森



「おもひでぼろぼろ」主演の碓井涼子(中央)と記念撮影する八嶋みやぎ女性協会長(左)と石山福岡県女性協会長(右)
(わらび劇場にて)

林工芸館でのミニオカリナ絵付け、「農の魅力」をテーマにしたわらび座修学旅行スタッフの講演会、「おもひでぼろぼろ」出演者のアトラクションと交流会など全ての企画に積極的に参加、笑いと涙に溢れました。J A福岡中央会の松尾会長は「本当に我々が東北に来ていいものか踏ん切りがつかなかったが、東北で歓迎して下さる皆さんに触れ、だんだんとほぐれてきた。おもひでぼろぼろ観劇と東北旅行、東北のJ Aとの交流企画と心に残る旅行になった。今後も支援できる内容を模索しながら続けていきたい」と話しました。



花笠音頭



鈴木裕樹(左)と岡村雄三

太鼓パワーで復興へのエール

岩手県洋野町の種市海鳴太鼓とおおの鳴雷太鼓の両グループが今年7月から共同でわらび座芸部栗城宏の作曲・指導による新曲に取り組んでいます。震災犠牲者に向けた鎮魂の祈りを込め、復興へ立ちあがるパワーを洋野町から発信したいと練習を重ねてきました。12月10日にはたざわこ芸術村で仕上げ合宿があり、小学生から大人まで16名が参加、半年の練習の成果を披露しました。世代を越えた絆と復興への誓いがほとぼしる力強さに満ちた太鼓が響き渡りました。



ありがとうございました!



丸山有子 碓井涼子

11月23日、たざわこ芸術村・小劇場にてチャリティーコンサート「晴れのち晴れ」を開催しました。「おもひでぼろぼろ」出演の丸山有子、碓井涼子の2人がわらび座ミュージカルや演歌、民謡、オリジナル曲など幅広く約20曲を披露。170名定員いっぱいのお客様で笑顔と涙と感動あふれるコンサートとなりました。この場を借りて、ご賛同頂きました皆様に心より感謝申し上げます。寄付金は「おもひでぼろぼろ」義援金と併せて被災地へ寄付させていただきます。[寄付額 146,886円]

ミュージカル

アチルイ

北の耀星 新宿文化センター 2012年2月23日~26日

東日本大震災復興支援公演